

Week of March 30, 2025 - To The Singles　　Small Group Lesson 19

知り合う

しばしば、神を知ることのさまたげとなるものを分かち合ってください。

聖句　コリントの信徒への手紙一 7:25-40（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

25:未婚の人たちについては、私は主の命令を受けていませんが、主の憐れみによって信任を受けた者として、意見を述べます。26:現在迫っている危機のゆえに、人は現状にとどまっているのがよいと思います。27:妻と結ばれているのなら、それを解こうとしてはいけません。妻と結ばれていないなら、妻を求めてはいけません。28:しかし、あなたが結婚しても、罪を犯すわけではなく、おとめが結婚しても、罪を犯すわけではありません。ただ、結婚する人たちはその身に苦労を負うことになるでしょう。私は、あなたがたのためを思って言っているのです。29:きょうだいたち、私がこう言うのは、時が縮まっているからです。これからは、妻のある人はない人のように、30:泣く人は泣かない人のように、喜ぶ人は喜ばない人のように、物を買う人は持たない人のように、31:この世を利用する人は利用しない人のようになりなさい。この世の有様は過ぎ去るからです。32:私は、あなたがたに思い煩わないでいてほしいのです。独身の男は、どうすれば主に喜ばれるかと、主のことに心を遣いますが、33:結婚している男は、どうすれば妻に喜ばれるかと世のことに心を遣い、34:心が分かれてしまいます。独身の女やおとめは、体も霊も聖なる者になろうとして、主のことに心を遣いますが、結婚している女は、どうすれば夫に喜ばれるかと、世のことに心を遣います。35:このように私が言うのは、あなたがたの益のためであって、あなたがたを束縛するためではありません。むしろ、あなたがたが品位を保ち、ひたすら主に仕えるようになるためなのです。36:もし、ある人が、婚期に達しているおとめに対して、そのままではふさわしくないと思い、また、やむをえないならば、望みどおりにしなさい。罪を犯すことにはなりません。結婚すべきです。37:しかし、彼がしっかりとした心を持ち、無理をしないで自分の思いを制することができ、相手のおとめをそのままにしておこうと心の中で決めたなら、そうしたらよいでしょう。38:ですから、相手のおとめと結婚することは差し支えありませんが、結婚しないほうがもっとよいのです。39:妻は、夫が生きている間は結ばれていますが、夫が死ねば、望む人と再婚してもかまいません。ただし、相手は主にある人に限ります。40:しかし、私の考えによれば、そのままでいるほうがずっと幸せです。私も神の霊を受けていると思います。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1:26節で、パウロは「現在迫っている危機」のゆえに「現状にとどまっている」ように勧めています。続く27～31節において、この「縮まっている時」と移りゆく世の性質を踏まえて、信徒がどのように生きるべきかについて、パウロはどのような実践的な勧めを与えていますか？

2: 22～34節では、既婚者と未婚者の関心の違いが対比されています。パウロによると、それぞれのグループの主な関心事は何でしょうか？ また、38節の最終的な目標は何でしょうか？

3: 36～38節で、パウロは独身でいることについてどのような結論を述べていますか？ また、36～40節におけるパウロの勧めの主な理由は、35節にどのように示されていますか？ さらに、40節でパウロが述べていることで、注目すべき点は何でしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：

説教の中で武先生はかつて家族とモノポリーで遊んでいた時のことを話しました。ゲームは白熱しましたが、就寝の時間になると片付けなければなりませんでした。この話は、移りゆく世の性質と私たちの優先順位について、どのような真理を教えているでしょうか？

話し合い　その2：

パウロは「コリントの信徒への手紙一」を書いてから約10年後に「テモテへの手紙一」を記しました。その中で彼は、「それゆえ、私が望むのは、若いやもめは再婚し、子どもを産み、家を取りしきり、反対者にそしる機会を与えないことです。」と述べています。この箇所は、結婚が神への献身の一環として重要であることをどのように強調していますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。